



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学ピア・サポートの新展開 : つながり創出型ピア・サポートシステムの試み
Author(s)	岡本, 健
Relation	第4回「ぴあのわ」. 2011年1月8日. 名古屋工業大学, 名古屋市.
Issue Date	2011-01-08
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/44657
Type	lecture
File Information	slide.pdf, 発表スライド



北海道大学ピア・サポートの新展開 —つながり創出型ピア・サポートシステムの試み—

第4回「ぴあのわ」

2011年1月8日
於：名古屋工業大学

北海道大学ピア・サポート学生代表
岡本健

北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院観光創造専攻 博士後期課程
北海道大学 観光学高等研究センター リサーチアシスタント
大阪観光大学 観光学研究所 客員研究員
okamotot@cats.hokudai.ac.jp

①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

②広報の提案

③今後の活動の指針

①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

②広報の提案

③今後の活動の指針

北海道大学ピア・サポート活動の概要

☆ピア・サポーターが、学生からの相談を受け、その解決をはかる、あるいは、解決が可能な組織を紹介することが主たる業務

☆ピア・サポーターの構成

- 学部生：6人（男性3人、女性3人）
- 大学院生：5人（男性2人、女性3人）

☆2009年11月に試行、
2010年4月より本格稼働

☆ボランティア相談室を
間借りしていたが、2010年10月より専用の部屋に移転



旧ピア・サポート室の様子

①-1 北大ピア・サポートの概要

相談人数(単位:人)

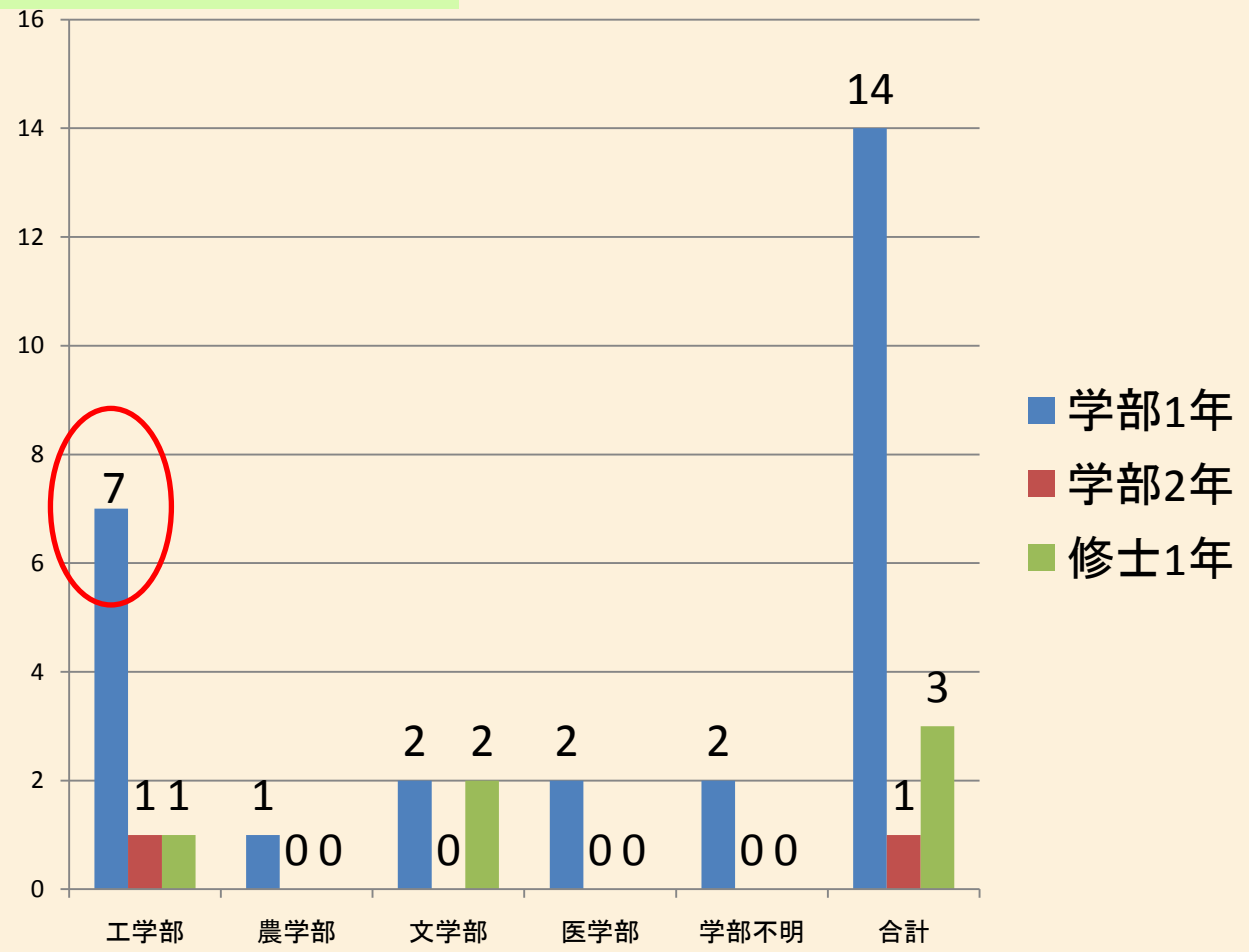
	相談者数	来室者数
2010年4月	15	/
2010年5月	4	
2010年6月	3	
2010年7月	1	
2010年8月	0	
2010年9月	0	
2010年10月	0	
2010年11月	5	105
2010年12月	4	110

他大でも課題とされている利用者減によるメンバーのモチベーション低下が問題

本当に悩みが少ないのであればこんなに素晴らしいことは無いが、実際はそうではないようだ....。

①-1 北大ピア・サポートの概要

相談者の学部と学年(単位:人)



工学部、農学部、文学部、医学部、特に工学部が多い(全体的に学生数が多いからか?)

学部1年(青)、修士1年(緑)など、新入年度がほとんど

相談者の滞在時間

相談内容と相談数(単位:人)

相談内容	相談数
道案内	6
履修	5
アルバイト	3
授業	2
ボランティア	2
サークル	3
対人関係	2
奨学金相談	1
資格試験	1
学生生活全般	2
その他	4

	min
最小値	1
最大値	90
平均値	19.9
標準偏差	24.2

n = 19

相談内容は多様。
また、じっくりと話しているうちに
様々な悩みの掘り起しができる場合も。

つまり、来室していないが、
悩みを抱えていたり、
悩みの種はあるが、無意識にしまっ
ている可能性も。

①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

②広報の提案

③今後の活動の指針

交流創出イベント「本活」を実施

企画の背景

- ♪ピア・サポートの広報として(組織と場所の周知)
- ♪ピア・サポーターの実地訓練の場として
(サポーターのコミュニケーション能力の向上)
- ♪学生のサポートニーズに関するデータ収集として
(聞き取りおよびアンケート調査)

実施概要

- ♪いらなくなった本を回収し、これから使う学生に受け渡す
- ♪本の回収時には、文房具等と交換
- ♪本の頒布は無料、ただし、アンケート記入を必須

ピアサポート学生生活活性化企画

～本活～

いらなくなった本や教科書、参考書
があれば、是非お持ちよりください。

(マンガ・雑誌等、一部引き取りができないものもありますが、ご了承ください。)

協力してくださった方には、冊数・金額に応じて
もれなく粗品をプレゼントいたします。

★粗品例★

1冊以上…ペン、クリアファイル

10冊以上…USBメモリー などなど

回収場所：ボランティア室（高等教育機能開発総合センター N109）

回収日：3月16日～30日の(火)と(木) 14時～16時30分

4月 5日(月)～9日(金)

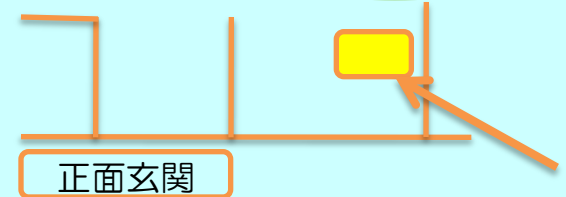
月・水・金11時～15時、火・木11時～17時

※「ピアサポート」とは…

学生の、学生による、学生のためのサポート活動です。

学生生活の悩み、疑問を一緒に解決します。

《予告》今回回収した本は、4月12日～16日にボランティア室
にて無料で頒布します。探してた本が見つかるかも！！



正面玄関

ボランティア室

ピアサポート学生委員会

連絡先：011-706-7454（高機能センター学生支援課）

honkatsu@gmail.com（ピアサポート学生委員会「本活」担当）

①-2 本活

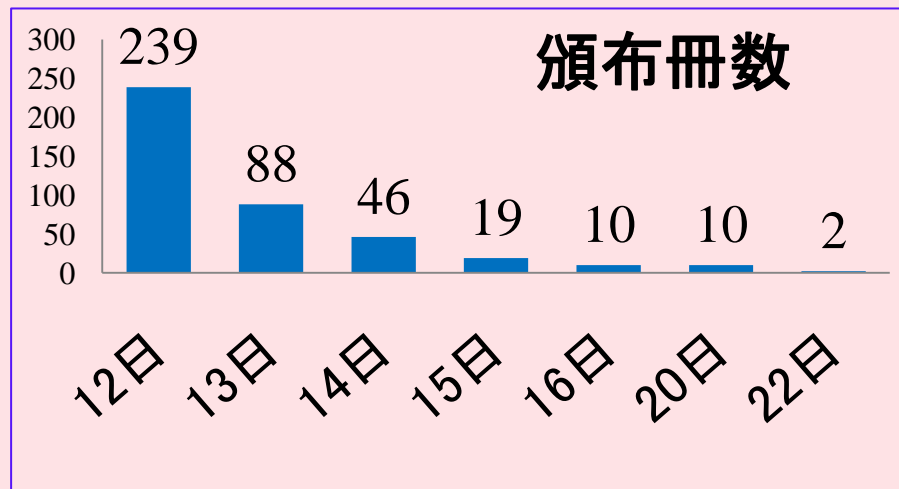
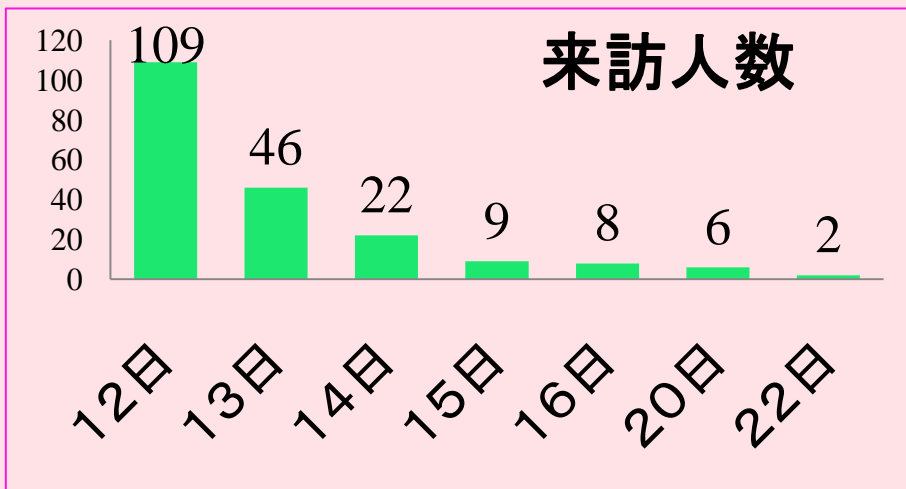
結果

■ 2月、3月、4月に本を回収

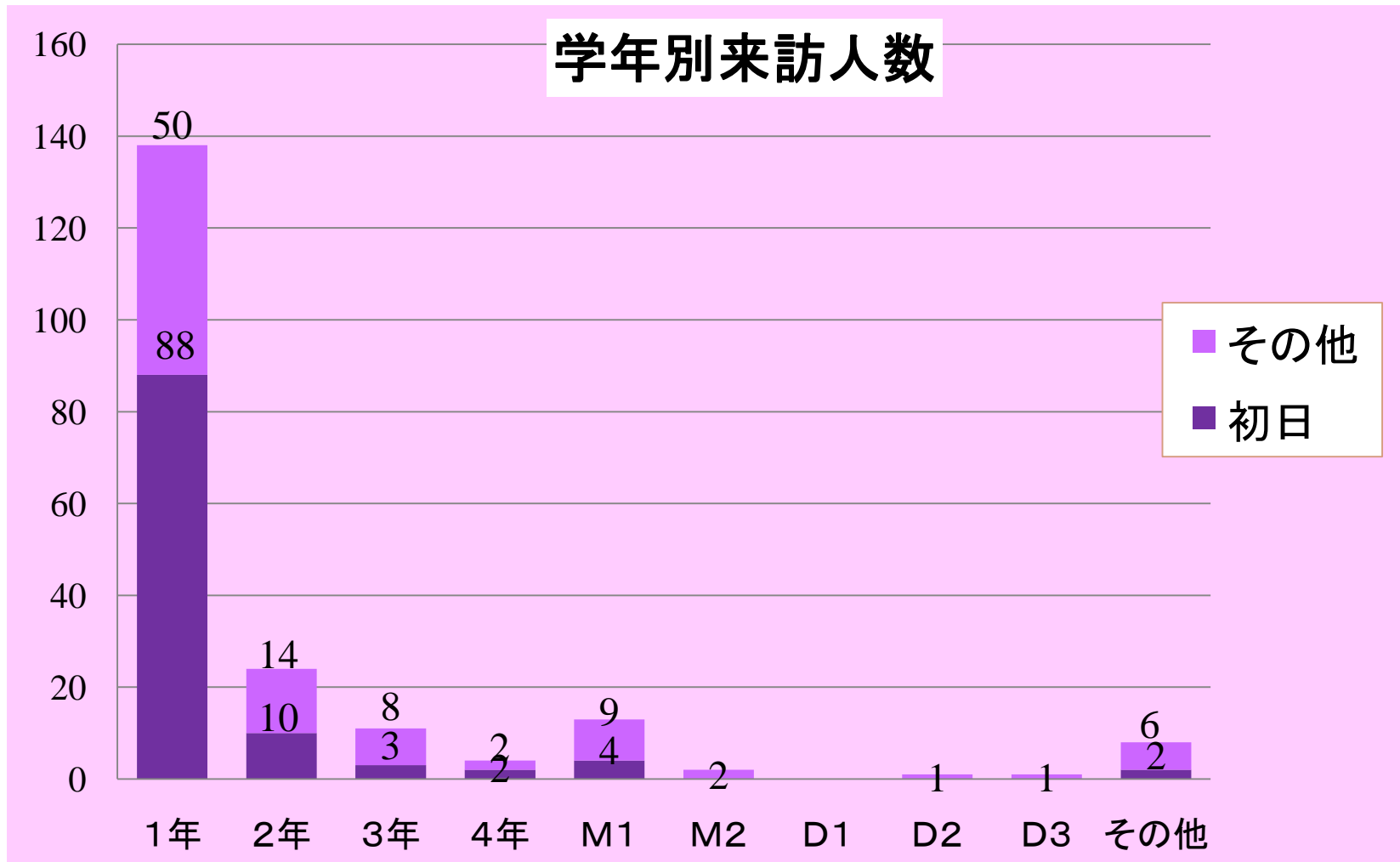
•→計492冊の書籍を回収

■ 4月中旬一週間が頒布期間

•→約400人が来訪。202人に414冊の書籍を頒布



①-2 本活







①-2 本活

■ 2月、3月、4月に本を回収

•→計492冊の書籍を回収

■ 4月中旬一週間が頒布期間

•→約400人が来訪。202人に414冊の書籍を頒布



- ・予想を上回る来場者数
- ・本を通してコミュニケーションが促進される
- ・立ち話であっても、軽い相談を解決することができた
- ・ピア・サポートの周知
- ・ピア・サポーターのモチベーションアップ

①-2 本活

何をきっかけに本活を知りましたか？

紙媒体	128	クラオリパック	24
		ポスター	25
		不明	79
人づて		56	
たまたま通りかかった		12	
不明・その他		11	

宣伝の直接効果

→新入生全員の手元に渡る媒体(クラオリパック)に情報が流せたのは大きい

間接的効果

→うわさになりやすいような内容のイベントであったと考えられる。教科書効果が大きい。

①-2 本活

本を選んだ理由はなんですか？

① ・授業で必要な教科書だから

・今後、専門分野の参考になりそうだから

② ・語学・資格の勉強のために

・趣味（小説の内容に興味があったから 等）

① 教科書のニーズが高い。

② 学習や趣味、資格などの自分の成長に資する動機。

①-2 本活

「学生生活で力を注ぎたいこと」

学習面	127	62.9%
課外活動(部活・サークル)	62	30.7%
アルバイト	16	7.9%
読書	7	3.5%
生活	5	2.5%
資格取得	3	1.5%
その他	46	22.8%
無記入	13	6.4%

「学生生活で不安なこと」

勉強	58	28.7%
生活全般	32	15.8%
金銭	17	8.4%
進路	15	7.4%
大学生活	14	6.9%
人間関係	12	5.9%
その他・不明	27	13.4%
ない	20	9.9%
無記入	22	10.9%

学習面に関して力を注ぎたいが不安、という現状が見えた。

不安なことが無いという人は1割程度しかいない。

①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

②広報の提案

③今後の活動の指針

①-3活動の報告

2010年2月10日 『「ぴあのわ」報告会』 於:情報教育館【内容は次のスライド】
→関わってくださっている先生方、教務学生支援課の方々、ピアメンバー

2010年8月16日 岡本健・平侑子「ピア・サポート活動報告会」於:情報教育館
→関わってくださっている先生方、教務学生支援課の方々、ピアメンバー

2010年8月20日

日吉大輔・岡本健(2010)「アカデミック・サポートとピア・サポートによる学習支援」
『平成22年度IDE大学セミナー』

【ダウンロードURL】 <http://hdl.handle.net/2115/43898>

→主に道内の大学の総長や学長、様々なサポート活動の先進的取り組みの紹介

2010年11月04日 岡本健「新ピア・サポート室開室に当たって—ピア・サポートのこれまでの活動と今後の展望—」『新ピア・サポート室開室記念お披露目式』
於:新ピア・サポート室

→副学長、教務学生支援課の方々、ピアメンバー

2010年12月13日 生協書籍部さんへの本活の報告と提案 於:新ピア室

→生協の書籍部さん(お二人)・厨川・青柳・岡本

1. 「ぴあのわ」参加記 (発表者: 岡本健)

2. 「ぴあのわ」に参加して

(発表者: 藤原美津穂、奥塚哲史、厨川知彦)

3. 「ぴあのわ」参加者への質問

(質問者: 高橋修平、浦家奈々、青柳祥子)

4. 会場の皆様からの質問

5. 「本活」の概要と進捗状況

(発表者: 藤原美津穂)

6. 「本活」に関する議論

①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

②広報の提案

③今後の活動の指針

①-4引っ越し

☆「間借り」から情報教育館2階の専用の部屋に！
(1年生が教養の授業を受ける建物と図書館の北分館の間に位置し、人通りが多い。)

- ・椅子約30 机9
- ・オープンスペース＋相談室＋ピア・サポート事務室
- ・冷暖房完備
- ・作業用PCおよびプリンター
- ・スクリーンやプロジェクターなど

ちょっとしたシンポジウムや発表会などが出来る設備も

①-4引っ越し



外から見たところ

①-4引っ越し



オープンスペース
ペー
ス
全
景

①-4引っ越し



個別相談室

①-4引っ越し



ピア・サポート事務局

①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

②広報の提案

③今後の活動の指針

②広報の提案

苦楽戦隊「ピア・レンジャー」プロット

1. はるか昔、北海道大学はクラーク星人から、大いなる知識を授かる。
2. その大いなる知恵を使って、北大は繁栄を極めた。
3. しかし、繁栄の陰に、悩める学生たちが生まれて来ていた。
4. 人間関係、研究や学び、暮らしなど、様々な場面で悩む学生たち。
5. こうした状況を憂慮したクラーク星統合政府は、
北大監察局所属Wasabi Sushi Clarkを北大に派遣。
6. 学生が様々なことで悩む姿が数多く見られる。
7. クラーク星人の介入もやむなしか・・・と思われたその時！
8. あらわれたるは、5人の戦士「苦楽戦隊ピア・レンジャー」
様々な悩みの種を知力と体力で解決！！

②広報の提案

苦楽戦隊「ピア・レンジャー」ねらい

1. 目立つ広報

チラシやビラは、そこら中にあふれているので、目立たない。細かい内実を知ってもらう前に、「なんだこれ？」と認知してもらわないと始まらない。また、他組織とのネットワークを結ぶ必要があるので、その際の宣伝にも使用可能。

2. アホな広報

「悩んでいる方、相談に乗ります」という広報の限界。どうしても上から目線に聞こえてしまう場合がある。こんなアホな事を考える人達なんだなと垣根を下げる。

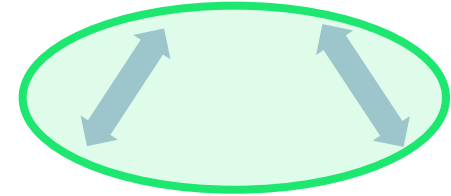
3. 本気の広報

ストーリーや設定など、自分達の組織について徹底的に考えて、こだわって、組み上げる。そうすることで、自分たちのやる事への理解が深まる。

4. 背伸びの広報

出来ることをやるのではなく、やりたいことをやる、ピア・サポーター自体がチャレンジしていかないと、学生の相談を満足に受けることは出来ない。

広報



組織の位置付け



成員の維持

② 広報の提案

1. 新ピア室を活かす

2. オープンスペース的活用？

3. それは一階にもある、学食だって使える、

4. 一人でゆっくりできる場所があまり無い

5. 相談者の垣根を減らせるような緩衝地帯が必要

6. メンバーにも緊張感を

7. 他組織とのコラボレーション企画

8. プラットフォームを作ってはどうか

ピア・カフェ

①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

②広報の提案

③今後の活動の指針

③ 今後の活動の指針: ピア・サポート活動の枠組み

効果的な**広報**のためには、**組織の位置付け**の明確化が必要。逆に、**組織の位置付け**が明確化していれば、的確な**広報**が可能に。

広報

広報によって相談者が増えたり、相談員が増えることで、成員の**モチベーション**および**人材**の維持につながる。逆に、成員の**モチベーション**が高く、**人材**も良ければ、そのこと自体が**広報**になっていく。

組織の位置付け

成員の維持

・モチベーション
・人材

組織の位置付けが明確化すると、成員は「誰のために何をしているのか」という自分の位置付けを理解することになり、**モチベーション**が高まる。逆に成員それぞれが、自分の**活動の位置付け**を明確化することにより、**組織の位置付け**も明確化され、各種イベントなどが、**組織の位置付け**に沿ったものとなって、イベントに来る人に対して、**組織の魅力**を伝えることができる。それによって、**新たな人材の確保**につながる。

ここに位置する取り組みをやる
ことが重要であると考えている。

ご清聴ありがとうございました！